

基本方針

公益担当財政局長 佐藤 太相

我々寒河江青年会議所が公益法人を取得して6年目となりますが、近年の会員の現状は公益法人の知識が足りず、会員拡大でも説明出来ていないと実感しました。今後も寒河江青年会議所でまちづくり、ひとづくり運動を地域へ伝えるためにも、公益の知識を更に深める必要があります。現役会員一人ひとりが公益社団法人寒河江青年会議所としての矜持と当事者意識を持ち、己の価値を磨き未来に繋げる新たな価値を創造出来ると考えました。

まず会員に求められることは公益法人制度に関する学びの開催です。今までの学びを活かしながら1歩踏み込む学びの場を提供することで、新入会員一人ひとりにも公益社団法人とはどのような組織かを伝えます。私たち会員一人ひとり、これから先の青年会議所の未来を見据えて運動を進めていく時に、しっかりと事業が出来る様に財産、そして今までの資料でもある書類の管理は重要です。自分自身が率先して財産管理並びに公益について学び、知識をしっかりと吸収して会員一人ひとりを支えて参ります。各委員長・副議長と連携を取りながら財政の職務を遂行していきます。会の運営に必要な定款や諸規程の登記変更の処理等も確実に遂行します。書類の確認、必要書類等の準備も整え滞りなく公益法人を維持します。ツール・ド・さくらんぼに対する支援も遂行します。様々な知識と学びを得ることで会員一人ひとりが成長しながら公益社団法人寒河江青年会議所に対し当事者意識を持てるように支えて参ります。財政局長として現状に満足せず、51年目の運動が出来る委員会と、委員会を支える事務局を支援できる公益担当財政局長を目指して参ります。

私たちは未来への運動を展開し、挑戦し続け、成長し続ける事で、会員一人ひとりの意識が変革していくことが可能です。これからの公益社団法人寒河江青年会議所が「社会の公器」として成長していく事ことで、誰もが夢を描ける明るい寒河江西村山を創造します。